



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.151

平成30年（2018年）7月23日発行

### ■大暑（たいしょ） 平成30年7月23日から8月6日までの節気

毎日暑い日が続いています。日中、外を歩くのに勇気がいるくらいの暑さです。みなさま、いかがお過ごしですか。6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に記録的な大雨となりました。気象庁は7月9日に「平成30年7月豪雨」と命名しました。被害にあわれた方、亡くなられた方、ご家族のことを思うと胸が痛くなります。そのあとの猛暑に体調を崩された方も大勢いらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。

二十四節気では23日から「大暑」にはいります。「大きな暑さ」という漢字からもわかるように、一年で一番気温が高くなるころです。梅雨に仕込んだ梅シロップをお風呂あがりに冷水でうすめて飲むのがささやかな楽しみですが、それももうすぐなくなりそうです。

さて、7月20日（金）と8月1日（水）は土用の丑の日です。すでに20日にうなぎを食べたという方もいらっしゃるかもしれませんね。ビタミンやたんぱく質を豊富に含んでいるうなぎを食べて暑気払いをしようという江戸時代からの風習ですが、平賀源内が「本日土用丑の日」という看板をうなぎ屋から頼まれて考えたという話は有名です。それにしてもこんなに長く続けているのは、うなぎの蒲焼がおいしいからだと思います。でもわたしはうなぎが苦手。そこで、土用の丑の日はうなぎ以外の「う」のつく食物を食べます。「うめぼし」「うどん」。うめぼしはりんご酸やクエン酸などの有機酸が疲労回復に効果があるそうなので、唾液が分泌されることで食欲も増します。うどんは麺類の中でも消化されやすく、食欲のないときには喉ごしもよいのでツルツルと食べやすいです。昔からの食の知恵を受け継いで、暑い夏を乗りきりましょう。

「ドッグ・デーズ」という言葉があります。「夏の土用。暑い日々、そして

ドッグスターが太陽とともに上る時期」という意味で、ドッグスターは、別名、シリウス。ギリシア語では「焼け焦がす」という意味です。夏は太陽と一緒に昼間の空をわたるので見えません。夏はシリウスが太陽に加勢するから暑いと考えられ、暑い夏の時期を「ドッグデーズ」とよぶようになったそうです。我が家には17歳の高齢犬がいます。夏は朝の散歩から戻ると、はあはあ荒い息をしています。一日中クーラーをつけていますが、ちゃんと冷風がくるところで寝ているのですからたいしたもの。夏、ときどき日中の暑いときに散歩をさせているのを見ますが心配になります。「ドッグ・デーズ」はドッグもつらい。気をつけてあげないと思います。

その暑いなか、東北4大祭りが行われます。青森ねぶた祭りは8月2日（木）から7日（火）。収穫の秋をひかえて農作業の妨げとなる睡魔をはらう行事にお盆の精霊送りが加わり、今の形に発展していきました。ねぶた一台に2000人の「跳人（はねと）」がまわりをとりまき、祭りをもりあげます。

秋田竿灯まつりは、8月3日（金）から6日（月）。長い竿を十文字にかまえそれに提灯をたくさんつけて太鼓をうちながら町をねりあるきます。厄除け、みそぎ、五穀豊穰などの意味があります。長いものでは12m、重さ50kg。提灯の数は46個もあるそうです。

山形花笠まつりは、8月5日（日）から7日（火）。色とりどりの衣装に県の特産であり県花でもある紅花の花飾りをつけた笠を手にして約1万人の踊り手が市内の大通りを練り踊ります。「ヤッショ！マカショ！」の掛け声が有名です。

仙台七夕まつりは、8月6日（月）から8日（水）。市内に豪華な笹飾りが飾られます。ちなみに旧暦の7月7日は今年は8月17日。

4つの祭りをはしごするパワフルな方もいらっしゃるかもしれませんね。  
※東北4大まつりについては、詳しくはともいき暦をご覧ください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2018/>

息子家族は夏はいろいろと出かけるようですが、私と夫と愛犬は家でじっとしている予定です。まずは暑中見舞いを書きたいと思います。（暑中見舞いは8月6日、立秋の前日まで）

みなさま、大暑の季節、くれぐれも熱中症に気をつけてお過ごしください。

すとう あさえ（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●蝉。

このような、天気が不安定な、入梅・出梅の時季を経験したことは、かつてなかったと思います。

西日本各地を襲った豪雨、水害、土砂災害などなど……。いたたまれません。

日本列島各地は豪雨のあと、梅雨明けをしました。梅雨明けといえば蝉の季節、5月にはもう泣き始める春蝉という種類もありますが、時には暑苦しいと思っても、蝉の声はやはり暑い盛りが似合います。

26種類いるという日本の蝉の中で夏をにぎわす蝉といえば「油蝉」、ジージー、ギーギーとなくおなじみの蝉です。梅雨明けと同時に、この蝉の声を耳にしますから、まさに油蝉は夏の申し子です。

それにミン、ミンミンとなく「みんなん蝉」がいます。

それに対し、「蝸（ひぐらし）」や「つくつく法師」に鳴き声には涼しさを感じて、俳句では秋の季題に入れられています。日本人の細やかな季節感覚のひとつといえます。

蝉たちが一斉に鳴きだす様子を沛然（はいぜん）と降る雨音に例えて「蝉しぐれ」と呼びますが、日本の夏を見事に探り当てているのではNPO特定あいでしょうか？

ひと夏に何度か、聞こえてくるのは蝉の声ばかりという昼下がりがあつたものです。

※「ジャパネスク」のトップページ映像「小暑の候」の「空蝉（うつぜみ）」の映像をご覧ください。

「天地自然」の災害のない夏であつてほしいと祈るばかりです。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

## ■特別寄稿

今号でも、当 NPO 会員で幼年童話作家のすとうあさえさんの「雪路さん。あなたともう一度会いたい。」5 をご紹介します。

### ●「雪路さん。あなたともう一度会いたい。」5

雪路さんの本当の名前は、雪会（ゆきえ）です。7月生まれなのに、「雪」。子どものころは、雪の降る日に生まれたから「ゆきえ」なのだと思っていました。私は叔母のことを「ゆきえちゃん」と呼んでいました。ですから今回は‘ゆきえちゃん’と書かせていただきたいと思います。

2012年3月に、池袋にある自由学園明日館（みょうにちかん）でゆきえちゃんの講演会がありました。宝塚でのこと、お父さんのことなど、ユーモアたっぷりの語り口にお客様も楽しそうでした。最後に私も壇上にあがって、ゆきえちゃんの隣にすわり、「タピラス」と「タピラスカード」の紹介をしました。人前で話をするのは苦手な私でしたが、ゆきえちゃんが合いの手を入れてくれたので肩の力が抜けてリラックスすることができました。

子どものころ築地の母の実家に行くと、祖母の帳場筆笥の上の壁にゆきえちゃんのスケジュールがぎっしり書き込まれたカレンダーが貼られていました。仕事仕事の人生。きれいな花をいっぱい、いっぱい咲かせてみせてくれました。

ゆきえちゃん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

今回でコラムを終わりたいと思います。

すとうあさえさん。「雪路さん。あなたともう一度会いたい。」5本の原稿をいただきありがとうございました。改めて朝丘雪路さんの偉大さ、人柄が伝わってきました。

最後に、朝丘雪路さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

(NPO PTPL スタッフ一同)

■事務局便り

●日本各地では連日の酷暑。特に西日本災害の被災地での復興作業は想像以上の過酷さの中で行われています。先日の連休には多くのボランティアが集まり、被災者、ボランティア、そして自衛隊、警察、消防の多くの方々が黙々と作業にあたっている姿を報道で見ると、頭が下がります。一日も早い復興を願うばかりです。さて、大暑の節気は子どもたちにとっては待ちに待った夏休みが始まります。暑さ対策をしっかりと、素晴らしい思い出づくりの夏にしてもらいたいものです。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話 : 03-6432-5911 FAX : 03-6432-5912

Email : [info@ptpl.or.jp](mailto:info@ptpl.or.jp)